

hi64 TALK 大事件がおきるたびに考えること

- 2022年の参議院選挙投票日の前々日、7月8日に元総理大臣の安倍晋三さんが、選挙戦の街頭演説中に、銃をもった犯人に撃たれ亡くされました。
- ひとりの人間が人びとの目の前で殺されたことに強い憤りを感じています。哀悼の意を表します。
- 事件後1週間がすぎた。まだ事件の全容がわかったとは言いがたい。現行犯逮捕された犯人が「政治的なテロ」ではなく「私怨による犯行だ」と供述しているとメディアは伝えている。私たちが事件の真相を知るまで、長い時間がかかりそうだ。
- 衝撃的な殺人事件や社会事件がおこると、私はどうしても一つの視点から考えざるをえなくなります。
- その視点とは、そこに差別と偏見がなかったのか。差別と偏見は、人間社会の諸悪の根源で、人間と社会を分断し、人の心を絶望させ、自由と平等の社会を破壊してしまうと思うからです。
- もちろん人間には感情があるので、何人も自分自身のなかにある差別と偏見から逃れることができません。だからこそ差別と偏見は、許し難いことだから気をつけろと自分で自分自身に言い聞かせ、考えることを停止せず人間を理解していかなければなりません。社会や制度に差別と偏見があってはならないからです。
- 元総理大臣が銃撃されて死亡するという事件の衝撃がおさまらず、哀悼の気持ちが落ち着いていない、この事件について私はようやく自分のペースで考え始めている。
- なぜ、このような殺人事件がおきてしまったのか。政治を仕事にする者として、しっかりと考えておかなければならない。
- 差別と偏見のない自由と平等の社会が、私の理想だからだ。

こんにちは！ 目黒区議会議員

金井ひろしです。

District Administration Report & Activity Report

区政・活動報告レポート

No.13 2022 夏号

ADDRESS 〒152-0032
東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL : 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com
Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろしE-mail

毎年恒例！しかし2年ぶりの第14回三浦海岸「地引き網」開催しました



6月12日(日) 自由が丘子ども会:主催

コロナ禍の第6波と第7波の合間をぬって、待ちに待った2年ぶりの「地引き網」を開催しました。

地域の人びとが知り合い楽しむ目的のレクリエーションイベントです。

今年は参加者314人、ボランティア・スタッフ59人の総勢373人参加で、過去最大のイベントになりました。

朝10時から「地引き網」そして「バーベキュー」「スイカ割り」「宝探しゲーム」を楽しみ午後2時に解散しました。

ボランティア・スタッフのなかには参議院議員の塩村あやかさんもいました。

地域の人びとが顔と顔を合わせて知り合うことから目黒のコミュニティが生まれてくると思います。

来年もぜひ、地引き網イベントが開催できるように、コロナ禍が収束するように努力し祈ります。



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".
누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向榮”

立憲民主党

いま語りたい私の大失敗

昨年6月の区議会において間違えて賛成してしまった議案がありました
目黒区は東日本大震災の被災者Aさんへの提訴を取り下げ、話し合いで解決してほしい

いま私は、3年前の統一地方選挙で区議会議員に選んでいただき政治家になつてから、初めての大きな試験のときをむかえています。

大変に複雑な政治問題を抱え込んで、進むべき道を考えて迷い、いったいどのように解決すべきなのか逡巡しています。

まずは、その複雑な政治問題が、どのようにして発生したのかを説明したいと思います。

昨年6月の目黒区議会決議

目黒区は昨年2021年7月に、東日本大震災の被災者である区民住宅で暮らすAさんを「住宅の明渡し及び弁済金」を求めて東京地方裁判所へ提訴しました。

目黒区が提訴に踏み切ったのは、この提訴を同年2021年6月の目黒区議会が全員一致で賛成し認めたからです。

東京地方裁判所は提訴をうけて第1回口頭弁論の法廷を開きましたが、目黒区の代理人である弁護士は、Aさんの和解の希望を拒否し、そのときも「和解はしない。とことん闘う。なぜなら目黒区議会で決まったことだから」と強く主張しました。

委員会から区議会まで
全員一致の賛成だった

その2021年6月の区議会での全員一致の決議に、もちろん私も賛成しているのです。

この議案は、区議会に提案（議会用語で上程という）された後に、区議会の、任命された議員で構成する企画総務委員会にかけて審議します。その審議を経て、本会議で議決されます。

この当時の企画総務委員会の委員長は、私たちの会派である「フォーラム目黒（立憲民主・無所属の会）」の幹事長であったために、私たちは会派として話し合い、会派として賛成の態度を表明していました。

私の賛成理由 目黒区の説明を信じた

私が賛成した理由は、この議案を「Aさんが目黒区との話し合いに応じず、規則に反して区民住宅に住んでいる」と目黒区が説明したからです。

しかし、目黒区が提訴した後に、目黒区民の有志のみなさんが「めぐろ被災者を支援する会」を結成して、これは「支援すべき被災者を追い立てている」いわば「人権問題」だと活動を始めています。たしかに住宅問題は人権問題です。

私は障害者の兄と暮らしていたところから人権について考え始め、それが政治家への道の基本路線になった者ですから、これが人権問題であると感じれば、再度深く考えざるをえません。

また「めぐろ被災者を支援する会」のメンバーの何人かは、私が主催するタウンミーティングの仲間でもありました。

その仲間の話を聞いてみると、どうやら目黒区の説明は大いに不足していたところがあったのです。

Aさんは目黒区との話し合いを求めていたのですが実現されず、目黒区は被災者をうけいれた地方自治体として十分な行政サービスをおこなっていなかった疑いがあるのです。

裁判でAさんの代理人となった弁護士は「議会が目黒区に騙された可能性がある」と言っていました。

個別の問題だったのだから
意見を聞くべきだった

こうなれば、私が賛成した議案の正当性を、私自身が問わなければなりません。

一般的な意味での目黒区が運営する住宅のトラブルではなく、これは宮城県仙沼市と目黒区とAさんが話し合いをして、目黒区が被災者をうけいれた個別のケースから発生した問題だからです。
個別のケースだからこそ区議会の慣例に

したがって決議するのではなく、個別の調査が必要だったのではないかと私は思いました。

この議案を審議した企画総務委員会では、目黒区へ説明を求めたり要望をつくくわえた議員はいましたが、そのあとは全員一致の賛成決議になってしまった。

これが個別のケースであるを知っていたなら、Aさんの意見を聞いてもよかったのではないかと今では思うのです。それをしないで目黒区の説明を一方的に信用してしまっただけではない。

「誰一人取り残さない社会」をめざすのであれば、このAさんの窮状を、反省して解決しなければならぬ。

失敗を公表した
そこが問題解決の出発点

失敗したことに私は気がつきませんでした。「Aさんの話を聞いてから審議し議決すべきだ」と言えなかった。

これは大失敗です。反省しました。何とかして目黒区の提訴を取り下げ、目黒区はAさんと話し合いで解決すべきだと思いました。

まずはAさんに寄り添うべく情報を収集して整理し、Aさんの代理人弁護士とも話し合いを開始しました。

また今年5月の私が主催する第11回「区政報告会&タウンミーティング」で、失敗したことを勇気をもって公表し、心から反省していることを伝えました。

私が間違った判断をしてしまったことを指摘してくれる仲間がいることに感謝しました。全員が平等の立場で意見をかわすタウンミーティングを主催してきて本当に良かったと思いました。

民意は100%ではない
裁判所にはそう伝えたい

私が区議会で間違った賛成をしてしまったことを公表し、この文章を書いているのは、東京地方裁判所に間違っただけで賛成してしまっただけの議員がいてほしいからです。Aさんを目黒区が提訴することは全員一致の民意100パーセントではなかったことを知ってほしいのです。

失敗しない人がいるのか
議員は間違わない人なのか

私は私自身が間違いをすることがあると思っています。また議会でも行政でも間違いは起こりうると思います。間違わない人や議会や行政



や組織があるとは考えられません。間違ったときに、どうするのかわ、その人や集団の人格や器量が決まるのだと私は思います。
目黒区議会で可決された議案の重さを尊重しています。しかし、間違っただけで賛成してしまっただけのことを認めてほしい。
区民のみなさんへ間違っただけの決断をしてしまったことを公表し、謝罪いたします。Aさんへもご意見を直接お聞きしなかったことをお詫びします。
そして、この失敗を取り返したい。

すべての人びとの生活と権利を守るために

しかし、その最良の方法が区議会において見つかからない。私が1期目の議員だから知見が足りないのかもしれないが、間違っただけで賛成してしまっただけを正す方法が見えていない。

目黒区議会には議決のやり直しをしてほしいのだが、そのような先例がないらしい。先例がなくとも、間違っただけという議員がいるかぎりにおいて、何とか訂正ができないものなのだろうか。先例があればこれから先例になる方法をつくれればいいのではないか。

議員は間違っただけでいいのではないだろうか。間違わない人がいるという前提で目黒区議会はあろうか。

居直っているのではなく、人権を考える意味でも、間違いを間違いと認めることは必要だと思ふ。そうでなければ、すべての社会制度は固定化してしまい、改善のチャンスすらないことになってしまふ。それは議会制民主主義という制度を、民主主義の名において、自分で自分の首を絞めることにならないだろうか。

私は諦めることなく、Aさんに寄り添い、この問題を抱えて、すべての人びとの生活と権利を守るために、決意をあらたにして区政の仕事をしていきたい。

みなさんのご意見をいただきたくお願い申し上げます。

支え合うことを安心に。目黒区議会議員 金井ひろし

find strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。

立憲民主党



第11回 区政報告会&タウンミーティング

— 誰もが参加自由で、みなさんが自由に意見を言える、気軽な集会です —



新年、春、夏、秋と年に4回の「区政報告会&タウンミーティング」を開催しています。5月29日(日)は、その第11回目を、緑が丘文化会館で午後2時から4時まで、15分間の休憩をはさんで実施しました。

リアル参加とZOOMリモート参加で、合計20名のみなさんが集まりました。

学生インターンの「VISION 障がい者にとっても住み良い街づくり」の発表から始まり、若さにあふれた理想的なビジョンは新鮮な風を吹かせます。質疑応答にはハキハキと答える学生インターンの姿勢には頼もしさを感じました。

私の区政報告と「目黒区から裁判をおこされた東日本大震災の被災者Aさん」についての意見表明には、多くのご意見をいただき感謝するとともに身が引き締まりました。

都議会議員の西崎つばささんは、いつも時間をとって出席して下さいます。今回も都政報告をして、みなさまのご意見ひとつひとつに丁寧に回答していました。

自由な意見表明と意見交換の場所をめざすタウンミーティングの次回第12回は、9月4日(日)に自由が丘住区センターで開催します。詳しくは4ページでご案内しております。みなさまのご参加をお待ちしております。

第2回定例会報告 3つの質問を聞いて考えたこと

今年度の第2回定例会区議会の報告をいたします。この定例会では、私の質疑がなかったため、他の議員の質問から考えたことを報告します。

3つの質問を聞いて考えた教育と福祉の総合的な視点

自民党の佐藤昇さんは、区立学校の部活動の指導を、教員の負担軽減という意味からも、外部の専門家にまかせる時代になったのではないかと問題提起なさいました。

これは区立学校における部活動とは何か。そのことを本質的に問い直す重要な大改革議論につながります。ぜひ目黒区には小手先の対策ではなく、積極的に改革に取り組んでもらいたい重要課題です。

公明党のいいま和代さんは、ヤングケアラーへの支援を一歩前進させるためにコーディネーターを配置したり訪問事業をやる必要があると提案なさいました。

私も前回の定例会で質疑した問題ですが、目黒区はこの政策に手をつけたばかりなのか目に見える進捗がないようです。一刻も早く制度を立ち上げて充実させてほしいものです。

新風めぐろのかいでん和弘さんは、目黒区「ランランひろば」の実施日拡充について具体的な提案をなさいました。

たしかに目黒区は、23区の実施状況と比べると、拡充が遅れている。その背景には学童保育クラブの整備がいつか進んでいないことがありますが、保育園待機児童の問題とセットで考えていく必要があるはずですが、どうもバランスがわるいと思います。

いずれの質疑も教育と福祉の総合的な問題提起で、総合的な視点を深めていかないと目黒区の姿勢を根本から問い直す重要なものでした。

「都市環境委員会」副委員長になりました

さて私は今年度は「都市環境委員会」の副委員長を拝命しております。住環境、公園、清掃、道路関係といった、みなさんの住まいと環境を担当する委員会です。

かつて清掃工場建て直し問題で、仲間と共に声を上げたことがあります。その仲間たちは現在でもつながっていて問題意識を共有しています。考えることを止めてはいません。

現実の日常生活問題から、広くはカーボンニュートラルひいてはSDGsに連なる課題を担当する委員会ですので、大いにやり甲斐を感じております。現実と近未来を少しでも明るくする仕事をしたと思っています。



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。

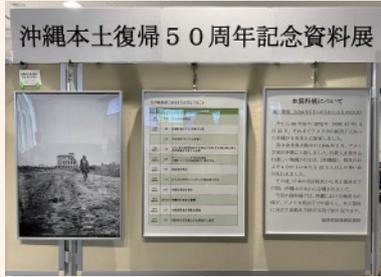
Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society,

다양성을 자랑으로. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을



青空意見交換会

今年4月に私は都市環境委員会の副委員長を拝命しました。その都市環境委員会の仕事で、屋外での青空意見交換会を初めて経験しました。区立の三角山公園のリニューアル計画について区民のみなさまのご意見を募る意見交換会を、三角山公園現地で開催しようと目黒区の職員が提案し実現しました。通常は会議室を使う意見交換会なので、きわめて新鮮であり、わかりやすい意見交換会になりました。



目黒区の沖縄パネル展

沖縄本土復帰50周年を迎え、目黒区は区役所通路でパネル展をおこないました。区民の方の陳情で、目黒区の平和祈念事業に沖縄を取り上げる提案があり、私は同意して議会で2度も質疑していたからでしょう。

パネル展の内容は、戦後からの77年間の歴史を辿るものですが、どういうわけかアメリカ軍基地問題や辺野古新基地建設問題など、目の前の沖縄の現状を伝えていませんでした。



世界激動の参議院選挙

コロナ禍とウクライナとロシアの戦争という世界激動の今年は参議院選挙の年でした。立憲民主党の公認候補である、東京選挙区に立候補した蓮舫さんと松尾あきひろさん、全国比例に立候補した辻元清美さん、この3人の応援活動の一員として選挙戦を戦いました。

反戦と平和や格差社会是正を求める声が、こここで聞こえてくる選挙戦でしたが、蓮舫さんと辻元さんは当選し、残念ながら松尾さんは惜敗しました。

夢のまた夢フィンランド

フィンランドの政治と社会制度に注目が集まっているので勉強のために読んでみました。「幸福度世界ランキング1位(2022:5年連続)」「移民を感じるランキング1位(2018)」「ジェンダーギャップ指数2位(2021)」のこの国は同性婚を認める。日本は54位・92位・120位とオハナシになりません。フィンランドは約100年前に君主制から共和制(大統領制)の市民社会になったので、社会の思想と構造が日本とは根本的に異なるのですね。



『フィンランド幸せのメソッド』

堀内都喜子：著
集英社新書
定価860円+税

30年ぶりのバンド復活

高校時代にやっていたロック・バンドのメンバーとSNSでつながりました。そうなれば話題はバンド復活のことばかり。また「バンドやろうぜ!」と練習スタジオを借りて、ボーカル、ドラムス、キーボード(私の担当)の3人が集まってリハーサル開始です。しかし30年ぶりなので演奏はボロボロで、サビを落とすには時間がかかりそうですが、いつかライブをしたいものです。そのときは対バンを募集いたします。



カブトムシ



我が家の娘が「カブトムシを育てたい」と言い出して、最終令の幼虫を購入したのが5月でした。大切に育てて1か月ほどで蛹(さなぎ)になり、6月下旬には成虫になりました。8月になると次の世代の卵を産みます。幼虫から育ててみたい方がいらっしゃれば、孵化した初令幼虫をおわけいたします。電話もしくはメールの連絡を下さい。

第11回 金井ひろし 区政報告会 & タウンミーティング開催!

- 都議会議員・西崎つばささんと衆議院議員・手塚よしおさんが出席の予定です。
- リアル参加会場とZOOMリモート参加環境の両方を用意いたします。
- ZOOMリモート参加をご希望の方は、下記の「金井ひろしQRコード」もしくは「金井ひろしのe-mailアドレス」へ8月31日までに、お申し込み下さい。ZOOM会場へご招待する返信メールを差し上げます。
- リアル参加会場は、密にならない座席の配置と窓開け換気をほどこしますので、温度対策が必要な方はお申し出下さい。
- リアル会場へ参加される方は、マスクの着用と、用意しておりますアルコールで手指を消毒するか洗面所での手洗いをお願い致します。

日時：2022年9月4日(日)

午後1時45分開場 午後2時開始 午後4時終了予定 参加費無料

会場：自由が丘住区センター2階 会議室(東急線自由が丘駅下車・徒歩5分)

住所：目黒区自由が丘一丁目24番12号 電話：03-2718-1195

当日連絡先：金井ひろし 080-5195-2909

みなさんのご意見ご要望をお聞きするタウンミーティングです。どうぞお気軽にご参加下さるようお願い申し上げます。



こんにちは! 金井ひろしです。

区政・活動報告レポートNo.13 2022年8月5日発行(通巻13号/第4巻第3号)

編集発行人: 金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303

T E L : 080-5195-2909 E-mail: kanai.hi64@gmail.com



Official Web Site



金井ひろしQRコード

立憲民主党